

動物用医薬品副作用症例報告 (平成18年2月分)

薬事法第77条4の2に基づく動物用医薬品副作用症例報告を次のとおり掲載する。

医薬品の名称 (製造(輸入)業者名)	副作用発現動物					副作用等発現の概要及び転帰						
	種類	性	年齢等	投与前の健康状態・疾患等	関連医薬品の投与歴等	投与量・投与方法	投与年月日	併用薬	副作用発現年月日(投与後時間)	副作用等の種類	講じた処置	転帰
フェロボックス3 (猫ウイルス性鼻気管炎・猫カリシウイルス感染症・猫汎白血球減少症混合(油性アジュバンド加)不活化ワクチン) 共立製薬(株) 製造番号： 162303A	猫雑種	雄去勢	13歳	健康		1ml (1バイアル), 皮下注射	平成18年 2月3日	なし	平成18年 2月3日	虚脱, 意識喪失, チアノーゼ 注射前の一般臨床観察では, 特に異常が認められなかったため, 平成18年2月3日の18時00分に本剤を注射した. 当該猫をキャリーバッグに入れて帰宅し, 18時15分頃に飼い主がキャリーバッグから出そうとした際, 虚脱, 意識喪失していることに気づき, 再来院した. 来院時(18時30分), 心肺停止, チアノーゼが認められ, 処置をすることができずに死亡を確認した.	無処置	死亡
<p>《企業の意見及び対応》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・担当獣医師：ワクチン注射時に異常が見られず, 注射後15分程度で意識消失したことから, 本症例はフェロボックス3によるアナフィラキシーショックにより死亡に至ったと考えられる。 ・企業：注射前の一般臨床観察では異常が認められていなかったが, 注射後15分程度で虚脱, 意識喪失していることから, 本剤によるアレルギー反応であった可能性がある。当該猫は比較的高齢であり, 基礎疾患が潜在していた可能性もあるが, 注射後に徴候が認められるまでの時間的経過から, 本剤との因果関係はあると考えられる。 ・対応：使用説明書では高齢の動物への場合について, 注射適否の判断を慎重に行うよう記載し, 副反応(アナフィラキシー等)による事故を最小限にとどめるため, 本剤の注射後しばらくは観察を続けるよう注意喚起している。今後も副作用等関連情報の収集等に努める。 												

家畜衛生週報 (No. 2932) より